

公表:令和3年 12月 22日

事業所名 児童発達支援事業 めだかのいっぽ

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫している点または課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標(昨年度のコメント) |
|-------------|---|---|----|---------------|-----|--|
| 環境・ 体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | | ○ | | 課題点 コロナ感染拡大防止のため子ども同士の間隔を開け、体操などの運動時には両端に分けて座りグループずつ体操を実施するなどして密を避ける取り組みが結果的に上手に空間を使えていると言える。きょうだい児を別室で見る等の工夫も続けていく。 |
| | ② | 職員の配置数は適切であるか | ○ | | | 工夫点 適切な人数配置が確保できている。子どもたちの安全を考えての職員配置や支援を今後も継続して行なっていく。 |
| | ③ | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか | ○ | | | 工夫点 子どもたちが扱いやすい場所や位置を配慮し、支援を行っている。 |
| | ④ | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか | ○ | | | 工夫点 コロナウィルス対策として定期的な消毒や常時換気を徹底するなど清潔を心掛けている。 |
| 業務改善 | ⑤ | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | ○ | | | 工夫点 ミーティングの中で子どもたちの共有をし、支援計画を基に支援を行う。振り返りは日常の保育をもとに情報共有シートなども活用しながら共有している。 |
| | ⑥ | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | ○ | | | 工夫点 今年度も保護者の皆様にご協力いただき実施。毎年実施し、よりよい運営に繋がるよう改善に努めていく。 |
| | ⑦ | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | | ○ | | 課題点 事業所内のファイルやホームページで公表し、その旨を保護者に周知しているが、ホームページからの閲覧にわかりにくさが生じているため、見直していく。 |
| | ⑧ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | | ○ | 課題点 第三者の評価は行っていないが、保護者・職員・法人管理職の意見をもとに業務改善を行っている。 |
| | ⑨ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | ○ | | | 工夫点 月のミーティング時に施設内研修を毎回実施している。外部研修に関してはコロナウィルスの影響もあり今年度も実施していない。 |
| 適切な支援の提供 | ⑩ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか | ○ | | | 工夫点 事前に聞き取ったご家庭での様子を始め、事業所内での活動参加の様子や支援を実施・対応した職員の話をも参考に会議を行い個別支援計画を作成している。 |
| | ⑪ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | ○ | | | |
| | ⑫ | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | ○ | | | 工夫点 個別支援計画の中に発達支援以外に、次の集団や医療へのつながりを支援できるよう項目を設けている。 |

| | | | | | | |
|--------------------------|---|---|---|---|--|---|
| | ⑬ | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか | ○ | | | 工夫点 毎日・毎月のミーティングで一人一人の様子について話し合い、支援計画をもとにその時々の様子に応じて職員間で統一した支援を行えるようにしている。 |
| | ⑭ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | ○ | | | 工夫点 日々のミーティングで活動の振り返りを行ない恒例の活動に加えてその時々の子どもの様子に合わせて使用するものやステップを変える等、週で検討しながら実施していく。また随時活動のアイデアを出しながら検討していく。 |
| | ⑮ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | ○ | | | |
| | ⑯ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか | ○ | | | 工夫点 本事業所を主としている利用児に対して集団活動以外に個別療育を行っている。個別支援計画の中に個別療育の目標を設定している。 |
| | ⑰ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | ○ | | | 工夫点 毎朝のミーティングで行っている。その日の活動予定や連絡事項、職員配置、子ども一人一人の様子などの共有を行っている。 |
| | ⑱ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | ○ | | | 工夫点 勤務の終了時間が違ったり、片付けや記録、個別療育にあたるなどそれぞれの業務を引き続き行っており、集まって振り返りを行うことが難しいため情報共有ファイルを活用し記載することで支援に関することや子どもたちの情報を共有する。 |
| | ⑲ | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | ○ | | | 工夫点 記録を毎日残している(ケース記録や情報共有ファイルなど)。 |
| | ⑳ | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか | ○ | | | 工夫点 前期と後期にモニタリングを行い、保護者の方へ説明を行っている。 |
| 関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携 | ㉑ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | | ○ | | 課題点 今年度は担当者会議が実施されたことは無いが、相談支援事業所のモニタリング等是对応できるようにし、やりとりを行なっている。 |
| | ㉒ | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか | ○ | | | 工夫点 子育て相談課や保健センターと連携が取れるようにしている。 |
| | ㉓ | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか | | | | |
| | ㉔ | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか | | | | |
| | ㉕ | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | ○ | | | 工夫点 保護者や園の要望を受け、幼稚園・保育園との電話面談や訪問を行っている。訪問の報告書で保護者や園とフィードバックして今後の支援につながるようにしている。 |
| | ㉖ | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | ○ | | | 工夫点 コロナウィルスの影響により昨年度末の支援学校の先生との情報共有や引継ぎはなかったが、プロフィールシートとして支援内容の共有をおこなった。今後も学校や保護者の要望に合わせて対応していく。 |
| | ㉗ | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | | ○ | | 課題点 明確な連携は無いが、研修の案内などをいただき、またケース相談などを行なっている。 |

| | | | | | |
|------------|---|--|---|---|--|
| | ⑳ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか | | ○ | | 課題点 昨年に引き続き交流の機会として、兄弟保育の受け入れや法人行事への参加、事業所内で行われているNPO法人活動のおもちゃ図書館がある。併園をOKとしているので、個々に関わりの場を確保されてる状況。 |
| | ㉑ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか | | ○ | | 課題点 同法人の相談支援センター職員が参加している。機会があれば同席できるようにする。 |
| | ㉒ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ○ | | | 工夫点 母子登園を主としているので、情報の共有は都度できている。 |
| | ㉓ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか | | ○ | | 課題点 ペアレントトレーニングとしての実施は無かったが、本事業所では母子登園を主としているので、都度ご家庭の様子を保護者にお伺いしながら適宜アドバイスしている。 |
| 保護者への説明責任等 | ㉔ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ | | | 工夫点 契約時に説明を行っている。 |
| | ㉕ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか | ○ | | | 工夫点 前期と後期の年2回、支援計画を作成し読み合わせを行ない保護者からの同意を得ている。 |
| | ㉖ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | ○ | | | 工夫点 適宜行っている。年3回、個人面談も実施している。 |
| | ㉗ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | ○ | | | 工夫点 今年度もコロナウィルスの影響で、保護者が集まるバザーやOB会は実施予定であったが見送っている。普段は実施をしている。 |
| | ㉘ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ○ | | | 工夫点 申し入れがあった際は都度対応している。 |
| | ㉙ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | ○ | | | 工夫点 毎月活動目的や目標を記載したお便りや月間予定を発行。法人からは通信を発行し、児童発達支援の情報を掲載する事もある。 |
| | ㉚ 個人情報の取扱いに十分注意しているか | ○ | | | 工夫点 職員間で取り扱いについて共有し対応している。 |
| | ㉛ 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | ○ | | | 工夫点 様々な情報を提供できるように対応している。 |
| | ㉜ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | ○ | | | 工夫点 コロナウィルスの影響により例年はバザーやずくぼんじょ(ジャガイモ堀り)を行っているが今年度は中止となった。例年は地域に根差した施設を目的とし、実施している。 |
| | 非常時 | ㉝ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか | | ○ | |

| | | | | | | |
|-------|----|---|---|--|--|--|
| 同等の対応 | ④② | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | ○ | | | 工夫点 年2回実施している。緊急時に子どもの安全を最優先できるよう、おんぶ・だっこ紐の確保など入念に行っていく。 |
| | ④③ | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか | ○ | | | 工夫点 入園前の個人票に項目を入れて把握できるようにしている。予防接種の欄が無かったが現在は項目を設けている。 |
| | ④④ | 食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか | ○ | | | 工夫点 保護者に詳しく状況を聞き取り対応をしている。 |
| | ④⑤ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | ○ | | | 工夫点 ヒヤリハットを定期的に共有し、事故防止に努めている。 |
| | ④⑥ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | ○ | | | 工夫点 月のミーティング時に施設内研修を毎回実施し、虐待に関する共有も行なっている。 |
| | ④⑦ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか | ○ | | | 工夫点 個別支援計画に記載することで、保護者への説明・同意を得ている。 |

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。